

## 1. 研究目的

現代の日本は、世界各国の技術や文化を取り入れることにより、飛躍的な経済成長を遂げている。長寿社会を実現する高い医療制度や教育制度の充実化など、国力の上昇はあらゆる面で我々に多大な恩恵を与えてくれている。しかしその一方で、急激な経済成長に伴い、日本の環境や人々の生活に致命的な弊害も引き起こしている。

現在でも要注意視されている問題としては、日本国民の幸福度の低さや自殺率の多さなどがある。これらの問題は、急激な経済発展の影響のみならず、日本を取り巻く環境の目まぐるしい変動に人々の身体や心がついていけず、適切な対応がとられなかったのも一因であると私は考える。

というのも、日本人の自殺の主な要因として「事業不振」「職場環境の変化」「過労」などが挙げられており、このことから仕事や生活など人々を取り巻く環境が弊害の原因となっているのがわかる。変動する環境に無理に対応しようとすれば、どこかで破綻するのは自明の理。

では、この問題をどう解決するかと考えたとき、私は一つの手段として、この卒業研究のテーマである「日本人の本質」に合った技術を研究し考案しようと思う。

## 2. 調査内容(事前調査)

研究にあたり、日本の経済成長期前(旧石器時代から明治初期)と経済成長期後の時代(明治中期から平成現代まで)を「日本の環境」「人々の生活」「主要な技術」「技術による発展と恩恵」「技術による衰退と弊害」の5つの項目に分けて調査。

各時代の項目を照らし合わせることで、「日本の環境の変化」「技術の発展と衰退」「人々の生活の移り変わり」を導き出す。

その結果から「日本人の本質」を導き出し、日本人が元来持っていた生活の技術を考案する。

## 3. コンセプトおよびアイデア展開

各時代の調査結果を照らし合わせ考察した結果、日本の環境のみならず日本人そのものの性質も変化しつつあることが解った。

上記から導き出した「日本人の精神の安定と肉体の休息」をコンセプトに、日本人の本質に合致した元来の生活の技術を考案する。

## 【研究資料の形式】



## 4. 最終提案(作品)

### ・各時代の研究資料

旧石器時代から平成現代までを「日本の環境」「人々の生活」「主要な技術」「技術による恩恵と発展」「技術による弊害と衰退」の五つの項目に分けて調査研究した資料。

### ・各時代の研究資料二

各時代の五つの項目を照らし合わせ導き出した「日本の環境の変化」「技術の発展と衰退」「人々の生活の移り変わり」の三点をまとめた資料

### ・「日本人の本質にあった生活の技術」の考案

研究と調査を基に考察した、生活に関する技術の説明資料。その技術に関する概要、利点、欠点、改善点などをまとめている。

(全ての資料は A3 サイズのファイルにまとめている)

## 5. 今後の発展

考案した生活の技術に自己分析を重ねてより研究を深めていくことにより、現在の日本人ひいては日本の環境をより良くするための方法を共に研究し考案していくと考える。

### 参考サイト

- [1]旧石器時代の教科書-日本旧石器学会
- [2]旧石器時代-【日本の歴史巡り】-日本歴史巡り
- [3]旧石器時代の道具-嵐山町 web 博物館
- [4]日本の歴史物語【何もない旧石器時代】
- [5]「前期旧石器」時代研究批判-考古学オンライン
- [6]その他多数のサイトを参考